

## 意見公募によって提出いただいた意見及び反映結果

施策案の名称	取手市公共施設等総合管理計画第1次行動計画（案）		
意見募集期間	令和4年1月15日 から 令和4年2月13日 まで		
意見提出者数	17人		
提出意見数	40件		
意見項目数	40件		
意見提出の内訳	直接窓口へ持参	0人	0件
	郵送	0人	0件
	ファクス	8人	19件
	電子メール	9人	21件
意見の反映結果	A 案に反映させたもの（反映・修正箇所がわかるものを添付）	0件	
	B 意見の趣旨が既に案に盛り込まれているもの	0件	
	C 今後の取り組みにおいて参考にするもの	7件	
	D 案に反映できないもの	6件	
	E その他（感想・賛否のみなど）	27件	
匿名等による意見提出者数	0人		

※意見公募は政策等の賛否を問うものではありません。有用な意見を政策等に反映させるため、意見の内容に着目し、これを考慮した市（実施機関）の考え方を掲載しています

※類似の意見に対しては、まとめて市（実施機関）の考え方を掲載したものがある場合は、意見項目数と一致しません

※詳細は別紙のとおり

## 提出された意見と市の考え方

番号	該当ページ	意見	市（実施機関）の考え方	反映区分
1		<p>取手市取手に住む40代（4人家族）です。 10年ほど前に取手市へ引っ越してきました。</p> <p>取手市を選択した一番の理由は都内通勤のしやすさです。 守谷市も候補の1つでしたが、始発という理由から取手市を選択しました。</p> <p>いま現在はテレワークがメインなので、その恩恵は薄れています。 全体的なイメージとして取手市が魅了的な街だとは思っていません。 （特に子育て世代には）</p> <p>その理由は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅周辺が寂れている（いまは工事されていますが）</li> <li>・ 坂道や一方通行、狭い道が多く、ごちゃごちゃしている</li> <li>・ 子連れで気軽に出かけられるような施設・公園がない（ウェルネス取手は利用していました）</li> <li>・ 小学校への通学路が危険</li> <li>・ 特に目立った子育て支援サービスがない（知らないだけかもしれませんが）</li> </ul> <p>私個人が期待する対策としては</p> <p>★取手市の“顔”でもある駅前の整備（未来を感じられる街） → 大型商業施設ができるというウワサもあるので、市外から取手駅へ遊びにきて、買い物をしたりホッと一息つけるような場所が必要、人の流れを作る</p>	ご意見として承ります。	E

2		<p>★リボン取手の取り壊し or 市が運営する大規模子育て支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 商業施設としてのリボン取手であれば復活は厳しいので取り壊し</li> <li>→ 残すのであれば、働く世代のための保育園や子供の遊び場、子育て世代向けのサービスを充実させる</li> <li>→ 子供を預けてそのまま電車に乗れるし、駐車場もあるのでアクセスしやすい</li> <li>→ 子育て支援サービスはこの市町村もやっていることなので、大々的に明確なメッセージを発信しないと伝わらない、差別化できない</li> </ul>	<p>「リボンとりで」は、民間施設であるため、ご意見に対する回答はできかねます。</p>	D
3		<p>★「ほどよく絶妙とりで」のコンセプトから「アート」を外して「子育て」を入れる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ アトリエ取手の4Fに行くとみんな勉強していて声出しにくい、プロジェクトルームは一部の人のみ利用してる、ギャラリーやオープンアーカイブのエリアは入りづらい、スペースの無駄遣いに思える</li> <li>→ 取手市に住んでいてアートが浸透しているとは思えない、アートを発信することで取手市のイメージアップに繋がっているとは思えない</li> <li>→ 若い世代・子育て世代に対して明確なメッセージを伝える</li> </ul>	<p>ご意見として承ります。</p>	D
4	P25	<p>★老朽化してあまり利用されていない公共施設は取り壊し or 売却</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 中途半端な改善では根本問題は解決しない、そこにお金をかけ続けるのはもったいない</li> </ul>	<p>今後予定される個別施設計画の策定の際には、全施設を対象に、存続、廃止、縮小、集約化、複合化の方針や、施設の運用期間を検討し、施設の今後のあり方を検討していくこととしています。</p> <p>頂いたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>	C

5		<p>以前、流山市に住んでいたことがあります。</p> <p>流山市はつくばエクスプレス開通以降、イメージを180度変えたように思います。</p> <p>市長のインタビュー記事を見ると、30代から40代の子育て世代が増加して、街全体が若返っているそうです。</p> <p>(流山市は子育て世代への対策に力を注いでいる)</p> <p>住みたい街ランキングでもたびたび上位にランクインしています。</p> <p>都市開発された流山おおたかの森駅前のイメージが強いのだと思います。</p> <p>やはり「駅前のイメージ」が「街のイメージ」に繋がる部分があると思うので、</p> <p>取手駅周辺の都市開発に力を入れて、子育て世代向けに強力なメッセージを発信していく必要があるのだと感じています。</p>	ご意見として承ります。	E
6	P1 P25 P81	<p>取手市戸頭に住んでおります。</p> <p>「公共施設の総量の縮減率として40年間で27%を数値目標として設定しました」とありますが、資料が膨大すぎて一般市民の私たちには理解ができません。</p> <p>公民館、学校、子育てに関わる機関(学校、保育所など)これらを今後削減していくという方針には同意できません。</p> <p>市民に周知されずに実施するのではなく、理解できるように目的やその効果を端的に市民への分かりやすい説明を求めます。</p> <p>説明会や市民目線での説明をしてください。</p>	<p>平成28年7月に策定した「取手市公共施設等総合管理計画」では、公共施設の更新費用の試算等の結果から、長寿命化や保全による基準の見直しを行っても、既存の施設を全て維持する事は出来ないことから、当市の財政状況で更新等にかかる費用を賄えるまで施設量を縮減する必要があると考え、令和37年度までの公共施設総量の縮減率の数値目標を「27%」と設定しました。</p> <p>今後予定される個別施設計画の策定の際には、全施設を対象に、存続、廃止、縮小、集約化、複合化の方針や、施設の運用期間を検討し、施設の今後のあり方を検討していくこととしていきます。</p> <p>また、施設のあり方を検討して</p>	D

			いく場合には、市民、利用者へのアンケートなど意見を聞く機会、市民ワークショップなどの対話する機会を設けて、行政と市民とが十分に情報共有を図りながら検討を進めていくこととしていますのでご理解をいただきますようお願いいたします。	
7	P1 P25 P81	<p>公共施設等を27%削減する計画第一次行動計画(案)は、それぞれの公共施設等の持つ目的・役割がどう果たされているのか施設目的に沿った活用をどう図るのか、その政策もなく人口減少の推計を前提とし財政効率をすべてに優先するものとなっています。</p> <p>公共施設等の削減は、文化の振興・地域の自治やコミュニティの発展という地方行政の役割を成り行きに任せて後退させ、地域と取手市の衰退に拍車をかけることにならざるを得ません。第三次保育所整備計画の児童減少で「入所児も減少」という誤った計画で公立保育所廃止・削減、その後待機児童拡大、学校統廃合とあわせてその影響は地域の衰退、子育て世代の取手からの流出などに表れています。本計画(案)は、高齢・長寿化の中での需要増の条件に考慮されず、人口減推計を機械的に公共施設の縮減に当てはめたもので、人口減少すなわち施設の利用減少との決めつけは公立保育所縮減の誤りの繰り返しです。公民館などを拠点とする活発な市民活動が市民の健康増進につながり、地域文化の振興・発展に貢献していることは明らかです。今、取手市が検討すべきは、取手の施設的な資源と人的資源を前向きに生かすこと市民の知恵と行政の役割を発揮する必要があると考えます。合わせて計画(案)作成の為に市が実施し</p>	番号6のご意見に対する市の考え方と同様になります。ご理解いただきますようお願いいたします。	D

		<p>たアンケートは、施設の縮減前提の誘導型になっています。市民の全体人数から見れば施設利用者の割合は多くはなく、利用しない市民にとって施設への関心は高くない人も多いと思われます。無作為に抽出された1000人弱のアンケート回答者の中には、日頃施設を利用しない、施設の必要性を切実に感じていない市民が多いこともうかがえます。その中でも⑥機能別の施設量（問13）の中で、公民館の施設量は過剰との意見が一番多い17%に対し、施設量は適当との回答が58%でした。施設分類のすべてにおいて施設量過剰より施設量適当との回答が圧倒的に多くなっています。旧藤代から引き継いだ取手市の公民館など活用しての社会教育・生涯学習活動など活発な市民活動は、地域の文化・スポーツ振興に大きく貢献してきました。それらをどう発展させるか、その為の施設の改修・新設等の改善を図られることに行政の役割を發揮することこそ求められています。公共施設等総合管理計画第一次行動計画（案）は白紙に戻してください。施設の有料化さらには、利用料値上げを繰り返した過去の公共施設等の運営を改め、『公共施設等拡充整備計画』等に改め市民の知恵を生かした運営改善を求めます。合わせて当計画(案)についての地域ごとの説明会開催を強く求めます。</p>		
8	P81	<p>・取手市公共施設等総合管理計画第1次行動計画（案）について市民への説明会を各地元公民館等で実施してください。</p>	<p>今後予定される個別施設計画の策定の際に、公共施設のあり方を検討していく場合には、市民、利用者へのアンケートなど意見を聞く機会、市民ワークショップなどの対話する機会を設けて、行政と市民とが十分に情報共有を図りながら検討を進め</p>	E

			ていくこととしていますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。	
9	P2	<p>・公共施設については、地方自治法244条1項「公の施設」の範囲で考慮してください。</p> <p>(市が直接使用する庁舎、特定の人を収容する救護施設等は公の施設ではありません)</p>	本計画(案)の対象施設は、総務省から示された「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」に基づき、平成28年7月に策定した「取手市公共施設等総合管理計画」で市が保有する全ての公共施設を対象としています。	D
10		<p>・(案) P29人口の推計について守谷市、つくば市等の人口増加している市があります。取手市の人口減少の原因は？(明日を担う人材をどう育み、人口をどう反転させるかもはや待ったなしの状況です。守谷市では令和3年度保育所が2か所増設となっています。人口減少率に応じた施設の縮減面積の考えは間違いです。施設が縮減すれば人口も益々減少します。戸頭北保育所の様に。)</p>	<p>令和3年版「統計とりで」の人口動態(常住人口)によりますと、少子高齢化に伴い、死亡数が出生を上回っていることによる、「自然増加数の減少」が見られ、それが人口減少の大きな原因と考えられます。</p> <p>一方で、社会増加数については、平成29年以降、転入が転出を上回っております。これは、平成28年度に、ブランドメッセージ「ほどよく絶妙とりで」を決定し、積極的にシティセールスを始めたことが契機となり、また、定住化を促進させる事業を開始したこと等もあり、社会増加数の増加に寄与しているものと考えています。</p>	E
11		<p>・本来公共はすべて市民のものです。市民が自ら行動し、行政と対等な立場で向き合うことが求められます。市民と行政がともに協力して新しい価値を作り出すという「共創」の理念に基づいて行動すべきです。</p> <p>この(案)は市政の利益を考え公共の利益が考えられていない、逆立ちした(案)です。</p>	ご意見として承ります。	E
12		1) 市営住宅についてP52で「全年齢の市民による利用が想定される施設」「全年齢の市民をサービスの対象」などと位置づけています。しかし、市営住宅条例の根拠	ご意見として承ります。	E

		法となる公営住宅法では「住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸する」と提供対象を具体的に定めています。貧困や格差拡大が国際的問題ともなる中で、住宅に困っている市民の実態を具体的に調査した上で、将来計画を作成するべきです。		
13	P15	2)P15の市民意向調査問11の第1選択肢は「将来世代の負担は増えるが」という前置きにより回答者が選択を忌避する恐れがあります。不適切な誘導的設問であり、同調査を根本的にやり直すべきです	ご意見として承ります。	E
14	P15	3) 同問11の第2選択肢は「他の公共施設事業やサービスを減らしても」という前置きにより回答者が選択を忌避する恐れがあります。不適切な誘導的設問であり、同調査を根本的にやり直すべきです	ご意見として承ります。	E
15	P15	4) 同問11の第4選択肢は「道路や橋梁などのインフラは可能な限り維持し」という前置きにより回答者の選択を誘導しています。不適切な誘導的設問であり、同調査を根本的にやり直すべきです	ご意見として承ります。	E
16	P16	5) P16の「公共施設を縮小せざるを得ない場合の手法(問12)」において、縮小方法と関係ない第4選択肢「受益者負担を引き上げ、利用料金を見なすことにより財源を確保する」が設けられています。不適切で設問であり、同調査を根本的にやり直すべきです	ご意見として承ります。	E
17	P81	最後に市民との情報共有、協働のあり方について記されていますが、各施設の利用者へアンケート等意見を聞くとあります。個々の利用者に意見を聞くことにとどまらず、市全体の公共施設について、今後どうあるべきかを市民と	今後予定される個別施設計画の策定の際に、公共施設のあり方を検討してく場合には、市民、利用者へのアンケートなど意見を聞く機会、市民ワークショップなどの対話する機会を設けて、行政と市民とが十分に情報	C



		共に考え、検討し、共有しながら計画し、推進して欲しいと思います。	共有を図りながら検討を進めていくこととしています。また、市民ニーズが多様化する中、行政だけでなく、市民をはじめとした民間の様々な主体が自発的に地域の課題に取り組む、協働によるまちづくりも推進していくこととしています。 頂いたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。	
18	P1 P25 P81	○自治体の公共施設は、もともと社会的な必要性、市民の要望があってつくられたものだと思うが、そのことに関してはこの計画には一切記載がない。つまり、削減(廃止・売却)ありきで作られた計画にしか見えない。財政効率最優先の計画であり、市民のくらしに寄り添った計画ではない、ように思える。	平成28年7月に策定した「取手市公共施設等総合管理計画」では、公共施設の更新費用の試算等の結果から、長寿命化や保全による基準の見直しを行っても、既存の施設を全て維持する事は出来ないことから、当市の財政状況で更新等にかかる費用を賄えるまで施設量を縮減する必要があると考え、令和37年度までの公共施設総量の縮減率の数値目標を「27%」と設定しました。 ご理解いただきますよう、お願いいたします。	E
19		○公民館は、「集う」「学ぶ」「結ぶ」ことを基本に地域の拠点施設として重要な役割を果たしてきました。しかし、年々その機能が低下「させられて」きました。職員削減、事業予算の削減、利用にあたっての「有料化」⇒「値上げ」などで、益々利用しにくく、市民を遠ざける結果になった。もちろん、この間のコロナウィルスの感染も影響しています。しかしそれ以前から公民館には人が出入りしなくなっています。担当課の職員のみなさんは、このことを自覚していますか。	ご意見として承ります。	E
20		○「財政が厳しいから」という理由で、削減・売却するのは当たり前。とするのではなく、つくられた時の必要性、これまで果たして	平成28年7月に策定した「取手市公共施設等総合管理計画」では、基本理念として「理念1時代や地域の変化に対応した市	E

		<p>きた役割などを見直すことも大切なのではないかと思います。「財政」を言うなら、先送りや、やめるべき事業が他にあるのではないですか。</p>	<p>民サービスを継続的に提供する」としており、基本方針の方針1では、「人口減少と、人口構造の変化やライフスタイルの多様化等、市民ニーズの変化に対応した公共施設等の最適な質と量を維持する。」としております。</p> <p>ご理解いただきますよう、お願いいたします。</p>	
21	P81	<p>この公共施設等総合管理計画の大きな柱は、約3割の公共施設の縮減です。とても大変な仕事だと思います。この計画を進めるためには、市民と協働で進めることが一番大事だと思います。どの人も自分の近くにある公共施設を減らすことは賛成しないと思います。だからこそ、市民と協働して検討していかなければならないと考えます。</p> <p>P80の第5章推進体制の構築の表の中に、市からは「情報提供」、市民からは「意見」と書かれていますが、市民から意見を貰うのではなく、市と市民とで協議をする必要があると考えます。</p> <p>取手市では、市民協働で進めているすてきな取組がたくさんあります。例えば、「ささえあい協議会」「自立支援協議会」などです。公共施設整備協議会を設置して、協議して行くと良いのではないかと思います。</p>	<p>番号17のご意見に対する市の考え方と同様になります。</p>	C

22	P2	<p>取手市駅前整備が進められています。この総合計画では現在ある施設から約3割削減となっていますが、この計画には、新たな公共施設ができることは前提として入れていません。このA街区に公共施設が整備されるかどうかは未知数です。また、桑原地区の開発も同時に進んでいます。公共施設が増えるかどうかは未知数ですが、新たな公共施設ができることも考慮に入れておかなければならないのではと思います。</p> <p>何年かごとに点検・見直しを行って行くにしても、削減する前に増えることも考えて作成する必要があると思います。</p>	<p>将来、新たな公共施設ができることを本計画(案)で考慮することは難しいと考えます。新たに市が公共施設を保有した段階で、個別施設計画を策定し、その後、「取手市公共施設等総合管理計画」の見直しを検討してまいります。</p>	D
23		<p>全文拝読しました。</p> <p>これを読んで重～い気持ちになりました。取手市の未来が衰退しかないのかと。取手市の人口が、およそ3割減るので37年までに27%減らすことがまず大前提となっています。それに従って建物の点検や補修、廃止が決定されて行く案であると理解しました。</p> <p>①日本の人口が減る中で取手もやがて減ることは分かりますが、取手の中でも新住民も増えている所もあります。近隣の市の移住が増えている所もあります。人口減少を少しでも食い止める努力も必要です。住みやすい街にするには、お金がないからと公共のサービスを減少させるばかりの方向ではなく、減少を少しでも食い止める方向の公共施設のあり方や市政のあり方を考えてほしいと思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>	E
24	P1 P25 P81	<p>②人口が約3割減れば必要性も3割減るといえるものではないと思います。地域地域によって人口のかたよがりがあります。公共施設の必要性にもちがいがあると思います。建物の廃止か補修継</p>	<p>番号8のご意見に対する市の考え方と同様になります。ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	E

		続か立て替えか、地域の必要性住民の方と一緒に何度も話し合い、地域住民の納得のいった決め方をしてください。		
25	P1 P25 P81	<p>③今まで学校統廃合や保育所の廃止などの問題で何度も地域住民や保護者などから存続の運動が起きてきました。しかし説明会ではいつも、「もう決まったことだから」と決まったことの上位下達が多かったと思います。</p> <p>私は、今回たまたま第1次案を見ることができましたが、市民のみなさんが周知していることではありません。知らない人が多いという市の方は「ホームページで知らせた。」パブリックコメントを出せば「反映するものではない。」などの返事です。多くの市民はなかなか知りえないのです。ぜひ地域に出向き案から説明し、市民の意見をよく聞き計画に反映させてください。共に考える市政を見てください。</p> <p>そのために町内会や自治会、施設の利用者方々に先ずは案の説明をお願いします。</p>	番号8のご意見に対する市の考え方と同様になります。ご理解いただきますようお願いいたします。	E
26	P1 P25 P81	<p>公共施設を27%削減していく計画の根拠は、この先の人口減少を見越し、厳しい財政状況を踏まえて、将来世代に負担をかけないようにする。というものです。それを実施するにあたり、まず無作為にアンケートをとり、市民の意見を聞き、パブリックコメントを求めるといふ流れになっています。</p> <p>しかし、パブコメは、そんな意見もあるのか、という軽い扱いに過ぎないのは、今まで経験済みです。取手市の今までのやり方を見ていると、まず計画ありきで、市民の意見は一応は聞くが、それで変更するなどということはありませんでした。まさに、上意下達</p>	番号8のご意見に対する市の考え方と同様になります。ご理解いただきますようお願いいたします。	E

		<p>で、小中学校の統廃合、保育所の削減等がやられてきました。市民が参加する市政には、なっていませんでした。27%の削減の中に、普段利用している公民館や、学校の統廃合が進むのか、など心配です。</p> <p>2月2日付け新聞報道によると、茨城県の人口推移状況が報道されており、県全体としては、人口が増えているにもかかわらず、県下トップの転出が取手市で、私は、大きなショックを受けました。1,400人近くが、転出したのです。これを、取手市として、どう分析しますか？千葉や東京にも近く、自然が豊かでベッドタウンとして地の利の良さを生かすことや、住民の意見をよく聞き、意見を反映させるような市政にしていくなを努力をしていかなければ、ますます衰退して行くことになると思います。</p> <p>単にアンケートやパブコメを取っただけで、あとは市が計画を立てますから、というのではなく、説明会などを、各地で開いたらどうでしょうか？市にとって、耳の痛いことも出てくるでしょう。出された意見が多様で、全部に答えられないということもあるでしょう。それでも、聞く耳を持って欲しい!!!いいアイデアが出てくるかもしれません。取手市に住んで、40年以上、ここを終の棲家とする私は、移住したくなる魅力のある取手市にしてほしいと、切に願います。</p>		
27	P81	<p>市では、今後の人口状況や財政状況により、公共施設の見直し、存続、廃止・縮小、集約化、複合化の方針とありますが公共施設は市民及び地域の財産です。それらの財産を住民が知らないうちに、ま</p>	<p>番号17のご意見に対する市の考え方と同様になります。</p>	C

		た一方的にもう決まった事として知らせるのではなく、住民との相互理解の中での話し合いを願います。行政と市民とが十分に情報共有を図るとあるが、一部の識者による協議ではなく、町会、自治会、保護者、利用者などの住民主体の協議会を設けて、計画が出てからではなく、計画を出すための場として、協働によるまちづくりに取り組んでください。		
28		管理計画の中で、人口減と市税収入減が何度も言われているが、取手市は都心への玄関口となっているにもかかわらず近隣市町村の転入増に比べ人口が増えないのは市として魅力があるとは言えないのではないか、駅前にビルが建てば、魅力が出るのか、住みやすい街とは人口を増やすためのビジョンが明確に示されていないのでは	ご意見として承ります。	E
29	P69	財政に関しても維持管理には多額の経費が当然かかるので、長引く駅前開発による関係費用増など開発による税金の使い道などの見直しが大切かと。	ご意見として承ります。	E
30	P81	そもそも公共施設は私たち市民の共有財産です。そして最も身近でなくてはならない施設です。その施設の縮減については広く、そして何度も協議を重ねて検討されるべきだと思います。特に「個別施設計画」については計画ができる段階以前の時点から、市民との協議会を設けてほしいと思います。 「アンケート」の取り方、「ワークショップ」の持ち方「行政と市民が十分に情報共有を図りながら」という本文の内容を、もっと具体的にすべきです。 個別施設についての住民協議会（町会や自治会、PTA、保育所、利用者などからなる）を常設し、計画が出てからではなく、計	番号17のご意見に対する市の考え方と同様になります。	C

		画を出すために一緒に考える場を設け、もっともっと市民を巻き込んだ取り組みを要望します。そうすれば、その中から、きっと新しい視点や、アイデアが生まれるはずで。地域の課題に「地域住民が主体的に取り組む協議」は、その中からしか生まれないのではないのでしょうか。		
31	P81	公共施設は私たち市民にとって、大変に身近で日常生活になくてはならない大事な施設です。その施設の将来にわたるプランを決めるのに、ホームページで公開、および公民館で閲覧という情報提供だけで進めるやり方は、広く市民に知らせることになっていないと思います。内容も難しく、これで、公民館などが縮減されたらたまりません。市は、この第1次行動計画案についての説明会を持ってから、パブリックコメントを募るべきです。パブリックコメントが終わってからもいいので、説明会を開いてください。	番号8のご意見に対する市の考え方と同様になります。ご理解いただきますようお願いいたします。	E
32		事前に行われたアンケートは、回収も少なく、また、設問が、縮減ありき、または縮減やむなしに誘導するような内容の設問で、公正さに欠けていました。	ご意見として承ります。	E
33	P81	公共施設縮減の根拠が、主に、人口の減少と財源不足と受け取りました。 まず、人口減少についてですが、公共施設が縮減するということは、ますます人口減少に追い打ちをかけることになるのではないのでしょうか。学校や、公立保育所、公民館、図書室、子育て支援センター、元気サロンなどは子育て世代にとってもシニア世代にとっても必要不可欠な施設です。また、街のコミュニティーの場としても大事な場所です。それらの充実、	番号8のご意見に対する市の考え方と同様になります。ご理解いただきますようお願いいたします。	E

		<p>発展こそが住みよい取手市になっていく基だと思えます。誰もが豊かに、より良い市民生活を送れるよう、もっともっと住民の意見を取り入れる場を設け、十分にそして慎重な議論を尽くすよう、要望します。</p> <p>次に財政についてです。長寿命化の検討においてコストを考えることは当然必要なことです。より安全で安心な公共施設はみんなの望むところです。ただ、市の全体の財政を見た時に、どうしても西口開発事業における税金の投入の在り方に疑問を持っています。市営住宅はボロボロで建て替えもままならず、壊してしまうことが地方自治体の公共施設の在り方でしょうか。困っている人を税金で救うことは地方自治体や国の第一の責任です。「お金がないから」といろいろなものを切り捨てる一方で、西口開発の地権者への補償金は膨らみ続け、税金の投入が行われています。ましてや地権者との合意や納得も得ないまま進めていくことも、補償金が膨らむ原因になっていることは市民から見たら、許せません。それでお金が無いというのは本末転倒です。</p>		
34	P81	<p>主に個別施設計画の策定についてです。今後、個別施設についての方向性を受けて、対策の内容や実施時期、対策費用の検討などが策定されていきますが、策定の前に住民との協議会をもって、地域の住民の意見を聞いて取り入れる場を設けて欲しいと思えます。住民生活と密着している公共施設の在り方を含め、「説明」や「情報共有」ではなく、「協議」をしてほしいと思えます。公共施設は公共の財産です。住民のものです。トップダウンで決まったことを「提</p>	番号17のご意見に対する市の考え方と同様になります。	C



		供し」「パブリックコメントを求め」、「市民に知らせました」「意見も求めました」という、おさなりで形式的なやり方をこの際、変えて、市民と共に歩む姿勢を求めます。		
35	P81	<p>取手市の人口は減っていますよね。しかしコロナ禍の今、東京からほど良い距離にある流山、守谷は、若い層の人口が増えテレビでも取り上げられていました。</p> <p>取手市も魅力的行政をしていけば、人口が増え、税収入が増えるということは、夢ではないはずで</p> <p>す。</p> <p>人は人を呼びます。マスコミも黙っていません。</p> <p>こんな住よい場所に変えなければならぬ、絶好のタイミングの時、減らすというマイナス思考せず、打って出てほしいです。</p> <p>公民館はじめ、公共施設は地域住民がほどよく関わり合える場としての中核をなすものだけに大切に考えていってほしいものです。</p> <p>住民が“住み良い”と感じる所にするには、住民に聞くことしかないはずで</p> <p>す。</p> <p>住民も忙しいし、考えも様々で大変でしょうが、一回のパブコメだけで終わらせないで、様々な意見は、イノベーションを起こすはずですので、沢山の住民の声を聞く体制を作り、“取手市の 公共施設整備 課はここにあり”という力を見せてくれるのを期待しています。</p>	番号17のご意見に対する市の考え方と同様になります。	C
36		表記の件、第一次行動計画案を読ませていただきました。将来の人口減少を見込んで、施設の在り方を見直し、その効果的な利用を図ることは当然のことを思います。	ご意見として承ります。	E

		<p>ただ、p28の基本的な考え方には、「現在の市民一人当たりの公共施設保有面積を公共サービス水準と捉え、これを維持する事を基本的な考え方とします。」とうたわれており、人口の減少率に応じて、施設を減らすお考えのようです。</p> <p>一方、市は現在、「ほどよく絶妙とりで」をスローガンに、「恵まれた自然や総合的な住環境などを「とりでの魅力」として市内外に発信することで、本市の知名度と魅力度のさらなる向上による交流人口と定住人口の増加を目指す」として、シティプロモーション推進事業に取り組まれています。</p> <p>自然環境や地の利もさることながら、公共施設の充実度もまた、市の魅力の一つではないでしょうか。人口が減るので、施設を見直し、現状維持につとめますといっているだけの計画案のように見えます。</p> <p>もちろん、それも大事ですが、どうせなら、魅力発信につながるような計画を抱き合わせにされることを希望します。</p> <p>以上、よろしくをお願いします。</p>		
37	P1 P25 P81	<p>この行動計画案を見て驚きました。全国的に人口は減るのですから仕方がないとしても、減るから、公共施設も減らすなど、およそ、展望というものがありません。</p> <p>ずいぶん前になりますが、県内の市町村の中でも取手市は保育や公民館活動など活発でうらやましがられたものです。</p>	番号6のご意見に対する市の考え方と同様になります。ご理解いただきますようお願いいたします。	E

		<p>公共というのは、利潤を追い求める企業とは違います。市民が健康で文化的な生々と暮らせるための諸々の施策、施設を充実することこそが、最も大切なではありませんか。私の身近なところにも、ゆうあいプラザで毎朝体操をしている人、ロビーで話している人、卓球などを楽しんでいる人など多勢いらっしゃいます。よく利用する、白山、戸頭、福祉会館なども利用者がいつもいっぱいです。退職してから図書館や埋文センターの講座、自主的な活動などに意欲的な市民が多勢です。公民館などこそ充実させ、まちのイメージをアップさせ、住んでいたい街への努力をすることこそが今後の方向だと思います。市民の大切な財産、思い出の詰まった街並の、生活に身近な公共施設を、売却することは認められません。白山のゆうあいプラザの図書室が暗く、履物を脱ぐため、子どもが嫌がると若い母親はこぼしていました。近くの図書館でゆっくり本を選びたい、こんな要望にこそ応えてください。もっと住民の声を多く聞いて頂くとよい案が出てくるのではないのでしょうか。</p>		
38		<p>老朽化した施設の見直し検討は必要だと思いますが、27%を縮減を打ち出すことには疑問を感じました。</p> <p>財政の問題というなら、人口を増やす努力をしてほしいです。</p> <p>コロナ禍によりテレワークが増えた影響か、茨城県の人口が増えているようです。しかし、取手市はここ数年転出が上回っています。</p>	番号18のご意見に対する市の考え方と同様になります。ご理解いただきますようお願いいたします。	E
39		<p>都心へのアクセスも良く自然もあり、とても住みやすいところだと思います。(税金がちょっと高め、水道料も)若い家族が取手市を選</p>	今後予定される個別施設計画の策定の際には全施設を対象に、存続、廃止、縮小、集約化、複合化の方針や、施設の運用期間	E

		<p>んでくれる様、文化、教育には力を入れて欲しいです。67才のわたしにとっても文化活動は元気に生きるために必要です。もし、近隣の公共施設（公民館や図書館など）がなくなれば生活に支障をきたします。たぶん他の地区の方も同じ思いではないでしょうか。</p>	<p>を検討し、施設の今後のあり方を検討していくこととしています。</p> <p>また、施設のあり方を検討していく場合には、市民、利用者へのアンケートなど意見を聞く機会、市民ワークショップなどの対話する機会を設けて、行政と市民とが十分に情報共有を図りながら検討を進めていくこととしています。ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	
40	P81	<p>計画案は細々としているため全容がなかなか理解できません。地区ごとに「住民説明会」の開催をお願いします。トップダウン（もう決まった事だから従うべき）ではなく、市民の声を聞いてくださる様をお願いします。</p>	<p>番号8のご意見に対する市の考え方と同様になります。ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	E

※意見公募は政策等の賛否を問うものではありません。有用な意見を政策等に反映させるため、意見の内容に着目し、これを考慮した市（実施機関）の考え方を掲載しています